

# 訓練

## 原子力規制委員会・内閣府原子力事故合同対策本部

※これは速報であり、数値等は今後変わることがある。

### 愛媛県伊予灘沖を震源とする地震による被害情報について

(第3報：令和7年11月28日 17時00分現在)

令和7年11月28日に発生した地震による、現時点で把握している施設の状況及び政府の対応状況等の概要は、以下のとおりです。
<b>原子力施設の状況</b>
(1) 四国電力(株)伊方原子力発電所(愛媛県伊方町震度7)
1号機：廃止措置中
2号機：廃止措置中
3号機：運転中
○プラントの状態
11月28日
<3号機>
15:01 AL21(原子炉冷却材の漏えい)事業者判断
AL42(単一障壁の喪失又は喪失のおそれ)事業者判断
16:28 SE21(原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による一部注水不能)事業者判断
16:45 原子力規制委員会が原子力災害対策特別措置法第10条事象と確認
○排気筒モニタ、モニタリングポスト(現時点で異常なし)
(2) 中国電力(株)島根原子力発電所(島根県松江市震度4)
1号機：廃止措置中
2号機：運転中
○プラントの状態、排気筒モニタ、モニタリングポスト(現時点で異常なし)
(3) 九州電力(株)玄海原子力発電所(佐賀県玄海町震度4)
1号機：廃止措置中
2号機：廃止措置中
3号機：運転中
4号機：運転中
(4) 九州電力(株)川内原子力発電所(鹿児島県薩摩川内市震度4)
1号機：運転中
2号機：運転中

# 訓練

○プラントの状態、排気筒モニタ、モニタリングポスト（現時点で異常なし）

（５）JAEA・人形峠（加工）（鳥取県三朝町震度３、岡山県鏡野町震度４）

○プラントの状態、排気筒モニタ、モニタリングポスト（現時点で異常なし）

## 【1. 総括関係】

### 1. 地震の概要について

#### （１）発生日時・場所

令和7年11月28日

14:00 愛媛県伊予灘沖（北緯33.6度、東経132.3度）

震源の深さ 約10km、マグニチュード7.5（推定）

#### （２）原子力施設所在地域における主な震度

震度7 : 伊方町

震度4 : 島根県松江市、佐賀県玄海町、鹿児島県薩摩川内市、岡山県鏡野町震度4

津波注意報 : 17:00解除

## 2. 政府の主な対応

### （１）会議等の設置

令和7年11月28日

緊急参集チーム・各省庁リエゾンを招集

14:05 伊方原子力発電所に係る原子力規制委員会・内閣府事故合同警戒本部を設置

14:05 伊方原子力発電所に係る原子力規制委員会・内閣府事故合同現地警戒本部を設置

16:47 伊方原子力発電所に係る原子力規制委員会・内閣府事故合同対策本部設置

伊方原子力発電所に係る原子力規制委員会・内閣府事故合同現地対策本部設置

### （２）政務・幹部等参集状況

#### 【官邸】

原子力規制委員会

原子力規制庁 市村技監

内閣府（原子力防災）

# 訓練

## 【原子力規制庁緊急時対応センター（ERC）】

原子力規制委員会 長崎委員、神田委員、山岡委員  
原子力規制庁 児嶋次長、古金谷総括審議官  
内閣府（原子力防災）

## 【内閣府】

松下政策統括官、高城審議官  
山中委員長、杉山委員、金子長官

## 【伊方オフサイトセンター（OFC）】

内閣府（原子力防災）  
原子力規制庁

## 【四国電力（株）事態即応センター】

原子力規制庁

## 【2. 原子力施設の被害状況に関する情報】

### 1. 四国電力（株）伊方発電所

#### （1）事象発生前のプラントの状況

1号機	廃止措置中
2号機	廃止措置中
3号機	運転中

#### （2）トラブルの経過

##### 【共通】

令和7年11月28日

- 15:01 **【警戒事態】**3号機において、原子炉冷却材の漏えい(AL21)、単一障壁の喪失又は喪失のおそれ(AL42)に該当すると事業者判断。
- 16:28 **【施設敷地緊急事態】**3号機において、原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による一部注水不能(SE21)に該当すると事業者判断。
- 16:45 3号機において、原子力規制委員会が原子力災害対策特別措置法第10条事象と確認。

##### 【1号機】

# 訓練

令和7年11月28日

14:00 外部電源から受電中。

## 【2号機】

令和7年11月28日

14:00 外部電源から受電中。

## 【3号機】

令和7年11月28日

- 14:00
- ・地震加速度大で原子炉自動停止。
  - ・500kV 送電線から受電不能、予備変圧器故障により、外部電源喪失。
  - ・非常用ディーゼル発電機(A)(B)起動。
  - ・電動補助給水ポンプ(A)(B)、タービン動補助給水ポンプにより給水中。
  - ・外部電源喪失に伴い、使用済燃料ピットポンプ(A)(B)が停止。
- 14:03 格納容器塵埃モニタ及び格納容器ガスモニタの指示値上昇により一次冷却材の漏えいを判断。
- 14:09 充てんポンプ(B)(C)起動。
- 14:25 一次冷却材の漏えい量の低減のため、一次冷却材の減圧を開始。
- 14:32 予備変圧器冷却器上部の破損及び堰内の油の漏えいを確認。
- 14:34 一次冷却材圧力の 11.3MPa までの減圧が完了。
- 14:35 500kV 送電線が川内変電所の GIS ブッシングの損傷により早期復旧不可。
- 14:47 使用済燃料ピットポンプ(B)起動により、使用済燃料ピットの冷却を再開。
- 14:59
- ・加圧器水位の低下を確認。高圧注水ポンプ(A)(B)、余熱除去ポンプ(A)(B)を手動起動。
  - ・使用済燃料ピットポンプ(B)が停止。
- 15:01 **【警戒事態】**原子炉冷却材の漏えい(AL21)、単一障壁の喪失又は喪失のおそれ(AL42)に該当すると事業者判断。
- 15:05 充てんポンプ(B)(C)を起動し、炉心注水を再開。
- 15:08 一次冷却材の減圧操作を実施。
- 15:19 高圧注入ポンプ(A)(B)及び余熱除去ポンプ(A)(B)を手動停止。
- 15:26 格納容器再循環ファン(A)(B)(C)(D)起動。
- 15:32
- ・6-3C、4-3C1、C2 母線が停電。

# 訓練

- ・非常用ディーゼル発電機(A)が母線側の故障に伴って過電流により停止。
- ・電動補助給水ポンプ(A)、格納容器再循環ファン(A)(B)が停止。
- 15:35 使用済燃料ピットポンプ(B)起動。
- 16:12 ・非常用ガスタービン発電機を起動。  
・蓄圧タンク(A)出口弁の電源供給を開始。
- 16:28 余熱除去ポンプ(B)のモーター軸受部(負荷側)に焦げ跡があり、運転不可を事業者判断。
- 16:28 【施設敷地緊急事態】原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による一部注水不能(SE21)に該当すると事業者判断。
- 16:45 原子力規制委員会が原子力災害対策特別措置法第10条事象と確認。

## (3) 施設の現在の状況

### ① 止める

1号機	—
2号機	—
3号機	原子炉自動停止

### ② 冷やす

1号機	—
2号機	—
3号機	・充てんポンプ(B)(C)による炉心注水 ・電動補助給水ポンプ(B)、タービン動補助給水ポンプによる給水

### ③ 閉じ込める

1号機	—
2号機	—
3号機	モニタリングポスト指示値に変化なし

### ④ 使用済燃料プール

1号機	—
-----	---

# 訓練

2号機	冷却中
3号機	冷却中

## (4) 進展予測と対応戦略

### 【共通】

<進展予測>—

<対応戦略>—

### 【1号機】

<進展予測>—

<対応戦略>—

### 【2号機】

<進展予測>—

<対応戦略>—

### 【3号機】

<進展予測>

全交流動力電源喪失・炉心注水機能喪失（16：30）が発生した場合の評価

（16：30時点）

・炉心損傷 11／29 6：43頃

・格納容器限界圧力到達 11／30 7：24頃

《使用済燃料ピット》

冷却機能が喪失した場合の評価（14：33時点）

・使用済燃料ピット温度 100℃到達予測 12月4日 0：00

<対応戦略>

①電源：

・非常用ガスタービン発電機（16：12準備完了）

②冷却：

《炉心注水》

・高圧注入ポンプ（B）（待機中）

・特重施設（待機中）

# 訓練

③その他：—

## 【3. 住民防護関係】

○ オフサイトの直近の対応状況	
令和7年11月28日	
14:05	関係地方公共団体に連絡体制の確立等を要請（AL1）
15:17	関係地方公共団体にPAZ及び予防避難エリア内の施設敷地緊急事態要避難者の避難準備を要請（AL2）
16:55	PAZ及び予防避難エリア内の施設敷地緊急事態要避難者の屋内退避を要請（SE） PAZ及び予防避難エリア内の住民に避難準備を要請（SE）
＜避難状況等＞	
【屋内退避継続に関する情報】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>高リスク者は、つわぶき荘で25名、瀬戸あいじゅで19名、三崎つわぶき荘で14名が屋内退避を実施中（支援者である職員は50名）</u></li> </ul>	

### 1. 住民避難に関する情報

#### (1) 避難準備要請区域

令和7年11月28日	
15:17	<p>四国電力株式会社伊方発電所のPAZ及び予防避難エリアの施設敷地緊急事態要避難者（注）は、避難の準備を開始することを要請（AL2）</p> <p>（注）施設敷地緊急事態要避難者 「施設敷地緊急事態要避難者」とは、PAZ内の住民等であって、施設敷地緊急事態の段階で避難等の予防的防護措置を実施すべき者として次に掲げる者をいう。</p> <p>イ 要配慮者（災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第8条第2項第17号に規定する要配慮者をいう。）（ロ又はハに該当する者を除く。）のうち、避難の実施に通常以上の時間がかかるもの</p> <p>ロ 妊婦、授乳婦、乳幼児及び乳幼児とともに避難する必要のある者</p> <p>ハ 安定ヨウ素剤を服用できないと医師が判断した者</p>
16:55	PAZ及び予防避難エリアの住民（施設敷地緊急事態要避難者を除く）は、避難の準備を開始することを要請（SE）

# 訓練

## (2)避難要請・指示区域

令和7年11月28日	
16:55	PAZ及び予防避難エリアの施設敷地緊急事態要避難者は、避難の準備が整った段階で、安定ヨウ素剤の配布を受け避難することを要請（SE）

## (3)屋内退避準備要請区域

令和7年11月28日	
15:17	避難の実施により健康リスクが高まる要配慮者は、屋内退避の準備を開始することを要請（AL2）

## (4)屋内退避指示区域

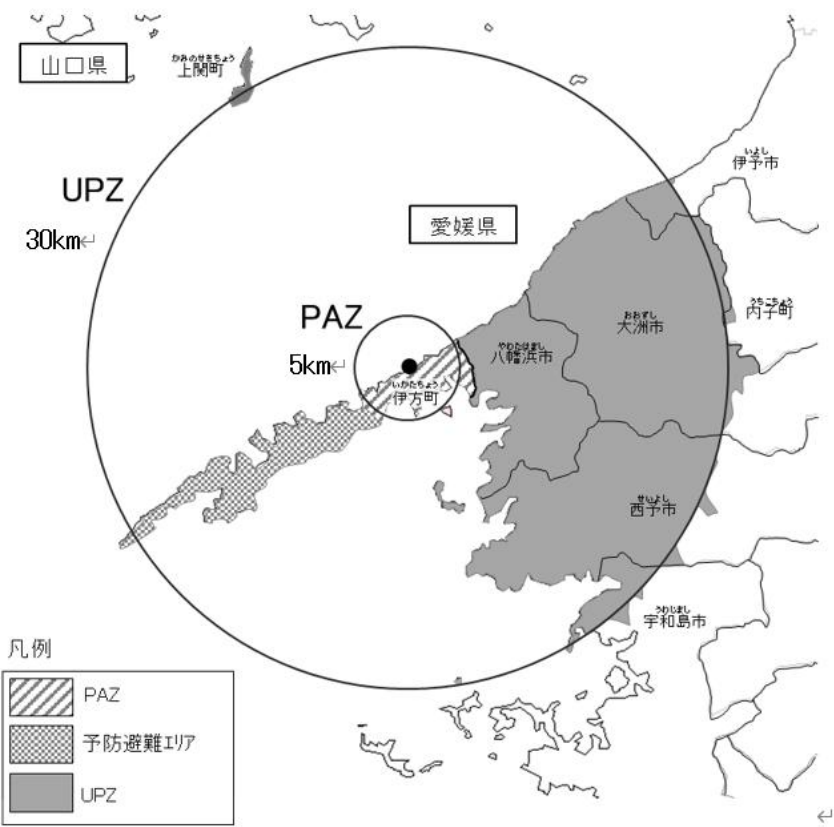
令和7年11月28日	
16:55	避難の実施により健康リスクが高まる要配慮者は、安全な形で避難できるよう準備を進めているため、その準備が整うまでの間は屋内退避することを要請（SE）
16:55	UPZの住民は、屋内退避の準備を開始することを要請（SE）

## (5)住民避難状況

令和7年11月28日	
16:00	<p>【瀬戸地域 足成（あしなる）地区（PAZ内）】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県道255号線 南側付近において道路の側方流出・亀裂等により通行不可、山間部の迂回路も土砂崩れにより道路が寸断され、孤立状態（99人、SE要避難者とGE避難者どちらも含む）</li><li>・ 避難手段については検討中</li></ul> <p>【伊方地域 田之浦（たのうら）地区（PAZ内）】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 道路の側方流出・亀裂等により通行不可、迂回路もなく孤立状態（109人、SE要避難者とGE避難者どちらも含む）</li><li>・ 避難方法については検討中</li></ul> <p>【屋内退避継続に関する情報】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 高リスク者は、つわぶき荘で25名、瀬戸あいじゅで19名、三崎つわぶき荘で14名が屋内退避を実施中（支援者である職員は50名）</li></ul>

# 訓練

	<p>【避難先・避難手段・避難状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 孤立地区を除く PAZ（伊方町（伊方地域全域＋瀬戸地域の一部））における施設敷地緊急事態要避難者等については、松前町ホッケー公園を經由し、松前町へ陸路で避難</li> <li>・ 国道 197 号線の分断により計画上の陸路避難が困難な予防避難エリア（伊方町（瀬戸地域の一部＋三崎地域全域））における施設敷地緊急事態要避難者等については、三崎（みさき）港→松山（まつやま）観光港での海路避難（三机（みつくえ）港は使用不可）</li> </ul>
--	---



区分	都道府県名	市町村名
PAZ	愛媛県	伊方町の一部 (①)
予防避難エリア	愛媛県	伊方町の全域 (①を除く)
UPZ	愛媛県	八幡浜市の全域
		大洲市の一部

# 訓練

		西予市の一部
		宇和島市の一部
		伊予市の一部
		内子町の一部
	山口県	上関町の一部

## (6) 周辺の被害状況

確認中

### 【4. 医療関係】

○ オフサイトの直近の対応状況
・ 安定ヨウ素剤：備蓄場所の被災状況 被災なし
・ 原子力災害医療：被ばく傷病者 あり（2名）／他傷病者 あり（2名）
・ 原子力災害拠点病院：被災なし、傷病者受け入れ可能

## 1. 安定ヨウ素剤の服用に関する情報

令和7年11月28日

16：31 安定ヨウ素剤備蓄場所の被災状況：被災なし

## 2. 原子力災害医療に関する情報（安定ヨウ素剤の服用に関する情報を除く）

### (1) 基本情報

令和7年11月28日

15：00 ERC 要員7／9名参集済み

15：25 高度被ばく医療支援センターの参集状況

弘前大学：4名

福井大学：3名

福島医大：3名

広島大学：5名

長崎大学：3名

15：27 指定公共機関の参集状況

量子科学技術研究開発機構（QST）：10名

日本原子力研究開発機構（JAEA）：15名

15：45 自施設の被災状況

量子科学技術研究開発機構（被災なし、受け入れ可能）

# 訓練

弘前大学（被災なし、受け入れ可能）

福井大学（被災なし、受け入れ可能）

福島医大（被災なし、受け入れ可能）

広島大学（被災なし、受け入れ可能）

長崎大学（被災なし、受け入れ可能）

15：45 広島大学地域の拠点病院の受入可否

中国・四国地方（愛媛県を除く）：3病院可能

近畿地方・中部地方・北陸地方：5病院可能

16：38 協力機関の傷病者受入可否

中国・四国地方（愛媛県を除く）：4病院可能

近畿・中部・北陸地方：11病院可能

## （2）負傷者関連

令和7年11月28日

14：55 傷病者2名（傷病者A：40歳代、傷病者B：30歳代）

傷病者A

意識あり、出血あり、外傷あり

14：00 管理区域内にて受傷

15：25 原子力災害拠点病院へ搬送開始

傷病者B

意識あり、出血あり、外傷あり

14：00 管理区域内にて受傷

15：05 原子力災害拠点病院へ搬送開始

15：53 傷病者2名（傷病者C：40歳代、傷病者D：30歳代）

傷病者C

意識あり、外傷あり、出血あり

14：48 3号タービン建屋（管理区域外）にて受傷

16：00 原子力災害医療協力機関へ搬送開始

傷病者D

意識あり、熱傷あり、出血なし

14：48 3号タービン建屋（管理区域外）にて受傷

16：00 原子力災害医療協力機関へ搬送開始

## （3）避難退域時検査関連

令和7年11月28日

確認中

# 訓練

## (4) 人員派遣関連

令和7年11月28日

16:52 原子力災害医療派遣チームの派遣可能数

弘前大学、1チーム(5名)

## 【5. 放射線防護関係】

<b>○ 放射性物質の外部への影響関係</b>	
・ 原子力施設外での放射性物質による影響 ① O I L 1 を超過したモニタリングポスト：なし ② O I L 2 を超過したモニタリングポスト：なし ③ 飲食物のスクリーニング基準を超過したモニタリングポスト：なし	
・ 飲食物の出荷・摂取制限 現在のところなし	
令和7年11月28日	
・ 原子力施設外のモニタリングポスト稼働状況：欠測あり	

## 1. 放射性物質の外部への影響に関する情報

### (1) モニタリング情報

ア 原子力施設外での放射性物質による影響 (17:00現在)

現在のところ放出なし

イ 原子力施設外のモニタリングポスト稼働状況

94局 / 100局：稼働中

5局欠測

・ 電子線量計 大江 (おおえ) (準 PAZ：西南西 9.7km)

・ 電子線量計 川之浜 (かわのはま) (準 PAZ：南西 10.9km)

・ 四電周辺モニタリングポスト 三机 (みつくえ) (準 PAZ：南西 7.1km)

・ 電子線量計 楡生 (くしゅう) (UPZ：北東 15.7km)

・ 四電周辺モニタリングポスト 喜木津 (きぎつ) (UPZ：東北東 8.2km)

1局欠測疑い

・ 電子線量計 磯崎 (いさき) (UPZ：東北東 11.5km)

### (2) 緊急時モニタリング実施計画

緊急時モニタリング実施計画 (第1版) 策定 (16:45)

# 訓練

## (3) 人員派遣・資機材関連

- 玄海、高浜、美浜の上席放射線防災専門官に参集指示（16：52）
- QSTに人員派遣要請（16：54）
- JAEAに人員派遣要請（16：56）
- 緊急事態応急対策委員2名に参集要請（16：50）
- JAEAに航空機モニタリングの準備要請（16：45）

## (4) 出荷制限・撮取制限関連

現在のところなし

## 【6. 実動対処関係】

### 1. 実動省庁による支援

#### (1) 現地派遣関係

令和7年11月28日

- 15：27：国交省に松山空港、宇和球場及び道路の損傷状況を確認。
- 15：45：国交省から松山空港は使用可能との回答。
- 16：15：防衛省へ松山空港から宇和球場までの0FC等派遣要員の緊急輸送支援について、支援の可否を確認。
- 16：28：0FC等派遣要員の緊急輸送支援について、防衛省から松山空港から宇和球場までの回転翼機での支援可能との回答。
- 16：30：0FC等派遣要員の緊急輸送支援について、防衛省に空自入間基地から松山空港まで固定翼機、松山空港から宇和球場まで回転翼機での輸送支援を協力要請。
- 16：33：0FC等派遣要員の緊急輸送支援について、防衛省から空自入間基地は最速19時以降離陸可能との回答。
- 16：51：0FC等派遣要員の緊急輸送支援について、搭乗人数72名が17：30規制庁出発、19：30以降空自入間基地着予定。（搭乗人数のうち、17名は松山空港まで輸送予定）

## 【7. 広報関係】

### 1. プレス等公表の状況（国際関係を除く）

#### (1) 情報提供

令和7年11月28日

- 16時00分 記者ブリーフィング（第1回）
- 16時31分 Nアラート（第1報）

# 訓練

17時30分 記者ブリーフィング（第2回）（予定）

（2）記者会見等

## 【8. 国際関係】

1. プレス等公表の状況（国際関係）

（1）情報提供

令和7年11月28日

14：45 IAEA通報第1報

15：48 IAEA通報第2報

（2）放射性物質の外部への影響に関する情報

現在のところなし